

# 援農ボランティア 果樹部門で修了式

日本農業新聞掲載日：令和8年1月30日(金)

稲城市とJA東京みなみ稲城支店は1月中旬、稲城市援農ボランティア養成講座「いなぎ農業ふれあい塾」の果樹栽培部門の修了式と野菜栽培部門の開講式を開いた。果樹栽培部門の修了生11人は、農作業のサポートで活躍を期待する。

講座は、2016年度から年度ごとに果樹栽培部門と野菜栽培部門に分けて開く。1年をかけて栽培技術を学び、高齢化や担い手不足などで営農が困難な市内での農作業の補助をする援農ボランティアを養成する。

修了生は、果樹農家実習と座学で同市の特産品「稲城の梨」栽培の知識と技術を学んだ。市内果樹農家の農作業のサポートをする。

開講式では新たに野菜部門9人が入塾。野菜全般の農作業実習と座学を受ける予定だ。

塾長を務める同市の高橋勝浩市長は「講習を通して市内農業を学び、援農ボランティア活動を楽しみながら、農業者をサポートして欲しい」と期待をした。



高橋市長から修了証を受け取る受講生（13日、東京都稲城市で）